

令和8年度 嶺北森林管理署の重点施策

～ 地域に貢献する国有林に向けた取組 ～

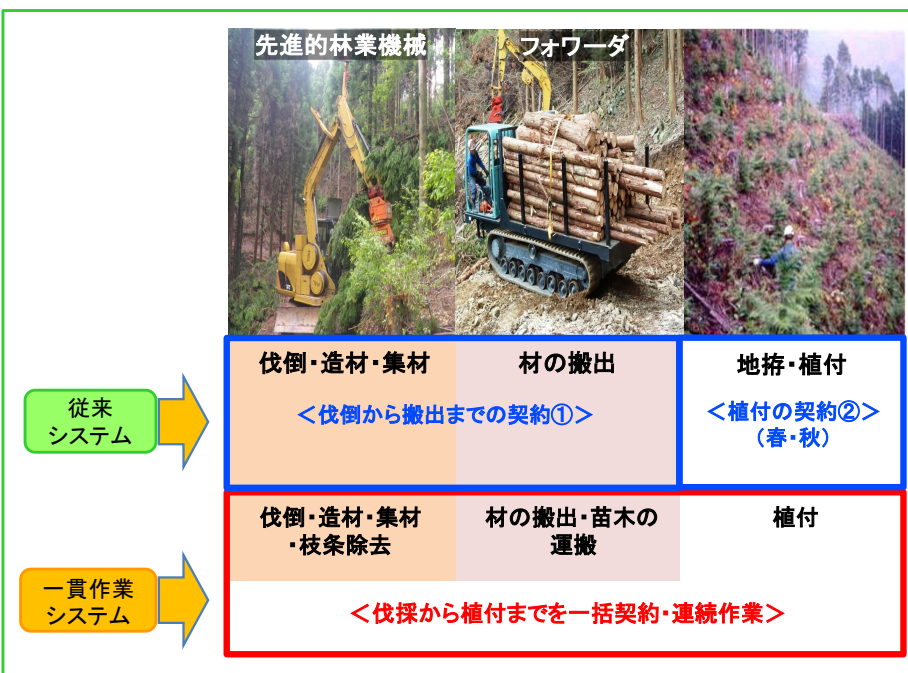
令和8年4月

嶺北森林管理署

1 伐採・造林の一貫作業によるコスト削減と 複数年契約による安定した事業量の確保・事業体の育成

- 伐採・搬出から植栽の作業を一括発注する「一貫作業」を仁淀川町(長谷)、仁淀川町(雑誌山)、いの町(長沢山)の3地区で実施
伐採から植付までの一括契約により低コスト化を推進し、「伐って、植える」ことにより、確実に再造林を進めていきます。
- 複数年契約を土佐町(一ノ谷山)、いの町(皆又谷山)の2地区で実施
複数年に渡る安定した事業量の確保、経営・雇用の安定や事業体の育成に貢献していきます。

■一貫作業システムと従来システム



■令和8年度 一貫作業実施地区(誘導伐・保護伐+植栽)

所在地	国有林名	面積(ha)	備考
仁淀川町	長谷	9.22	一括発注
仁淀川町	雑誌山	5.87	一括発注
いの町	長沢山	2.50	一括発注

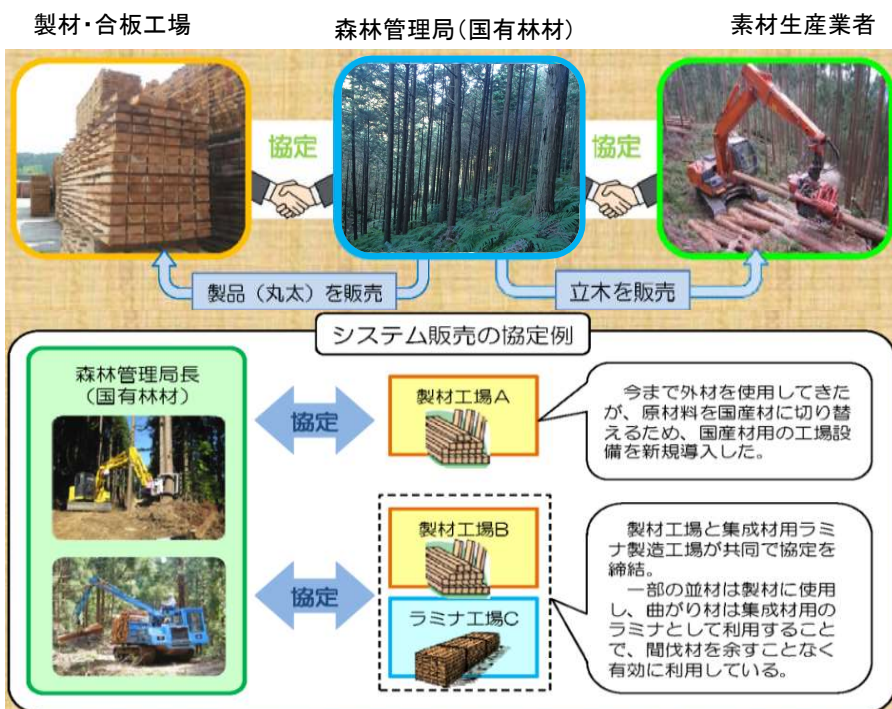
■令和8年度の複数年契約実施地区

事業年度	所在地	国有林名	面積(ha)	予定数量(m ³)
R6～8年度 (3ヶ年)	土佐町	一ノ谷山	111	9,000
R7～8年度 (2ヶ年)	いの町	皆又谷山	51	7,000

2 国有林材の安定供給と民国連携

- 素材請負生産と立木販売により、国有林材35.1千 m^3 (製品(丸太)換算)を安定供給
R7年度実績25.3千 m^3 (製品25.3千 m^3) → R8年度予定35.1千 m^3 (製品23.7千 m^3 、立木11.4千 m^3)
- 民国連携した4つの森林共同施業団地
住友林業、香美森林組合、高知県、土佐町森林組合と協定しています。

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組み



■ 嶺北署管内における素材生産の様子



■ 嶺北署の国有林材の供給量

(千 m^3)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
供給総量	19.1	18.1	19.8	28.8	25.3	35.1
製品販売	19.1	18.1	16.1	20.2	25.3	23.7
システム販売	17.8	17.3	10.2	13.3	18.9	16.2
立木販売 (製品換算70%)	0 (0)	0 (0)	5.3 (3.7)	11.8 (8.6)	0 (0)	16.3 (11.4)

※R3~R7年度は実績値。立木販売(分育・分造除く)の製品(丸太)換算率は70%

■ 4つの森林共同施業団地の概要

※端数処理により面積は合致しない。

協定名称	締結日	市町村等	協定面積 (ha)	面積		備考
				国有林 (ha)	民有林 (ha)	
いの町本川地域(戸中、葛原)の森林整備の推進に関する協定	H21. 8. 6 H26. 3. 20 H31. 3. 28 R6 . 3. 29	住友林業(株) 新居浜山林事業所	305	220	85	戸中団地
			430	271	158	葛原団地
南国市中ノ川地域の森林整備推進に関する協定	H23. 8. 4 H27. 3. 19 R2 . 3. 6 R7. 3. 28	香美森林組合	1,627	533	1,095	
大豊町立川地区の森林整備の推進に関する協定	H27. 9. 4 H31. 3. 29 R6. 3. 26	高知県林業振興・環境部	603	290	313	
土佐町榎山地区の森林整備の推進に関する協定	H29. 3. 30 H31. 3. 19 R6 . 7. 1	土佐町森林組合	329	277	52	

■ 市町村支援

森林の集約化に取り組む市町村(森林の集積・集約化実証事業に応募している市町村)等に、集約化が推進するよう技術的な支援を実施

3 協定等による獣害対策の推進

○ 民有林・国有林が一体となって獣害対策を推進

平成28年1月に中江産業(株)と締結した「ニホンジカによる森林被害防止協定」により、いの町内の社有林・国有林へ「くくりわな」を設置し、一体となってシカ捕獲を実施しています。

また、当署管内において職員による囲いわな・くくりわな等でのニホンジカの捕獲を実施。近年ではノウサギによる被害も増加しており、防護ネットの設置や単木保護も実施しています。

■ 協定によるニホンジカの捕獲頭数の推移

(単位:頭)

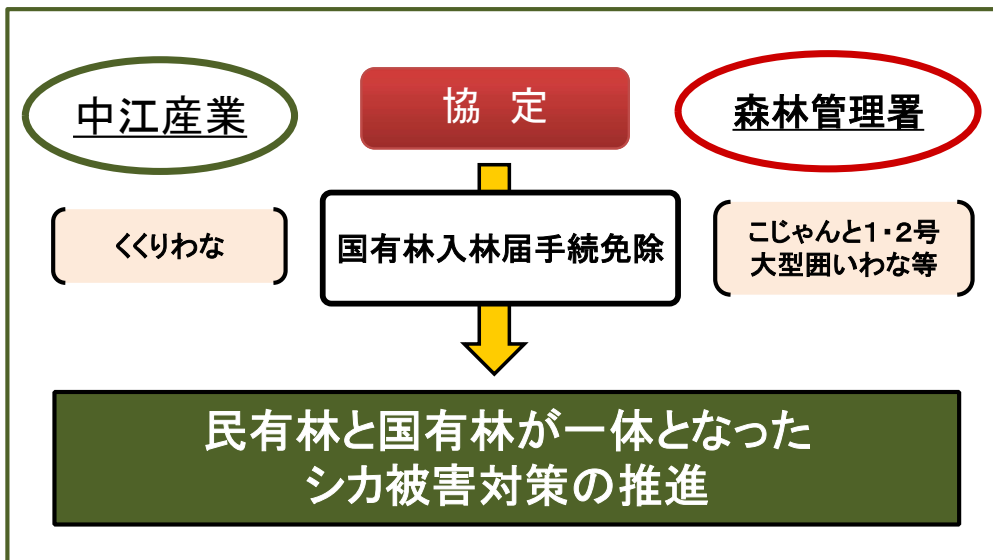
R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
44	117	99	133	126	164

■ 職員によるニホンジカの捕獲頭数の推移

(単位:頭)

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
64	77	75	90	114	99

■ シカ被害対策連携協定



■ 獣害対策の例



(防護ネット)



(単木保護)



(大型囲いわな)



(こじゃんと2号)

4 地域の安全・安心を守る山地防災力の強化

近年の大雨や短時間強雨の増加により、大規模化、多発化している自然災害から地域の安全・安心を確保するため、本年度は18か所で治山事業を実施します。(R7年度:20か所16.7億円→ R8年度:18か所13.7億円)

また、令和3年度より着手している吉野川上流地区民有林直轄治山事業においては、高知・徳島両県にまたがる広範囲の山腹崩壊等の復旧に引き続き取り組み、地域の方々が安心して暮らせるよう早期復旧を着実に進めます。

■ 平成30年7月豪雨による被災箇所



大豊町立川



三好市根津木

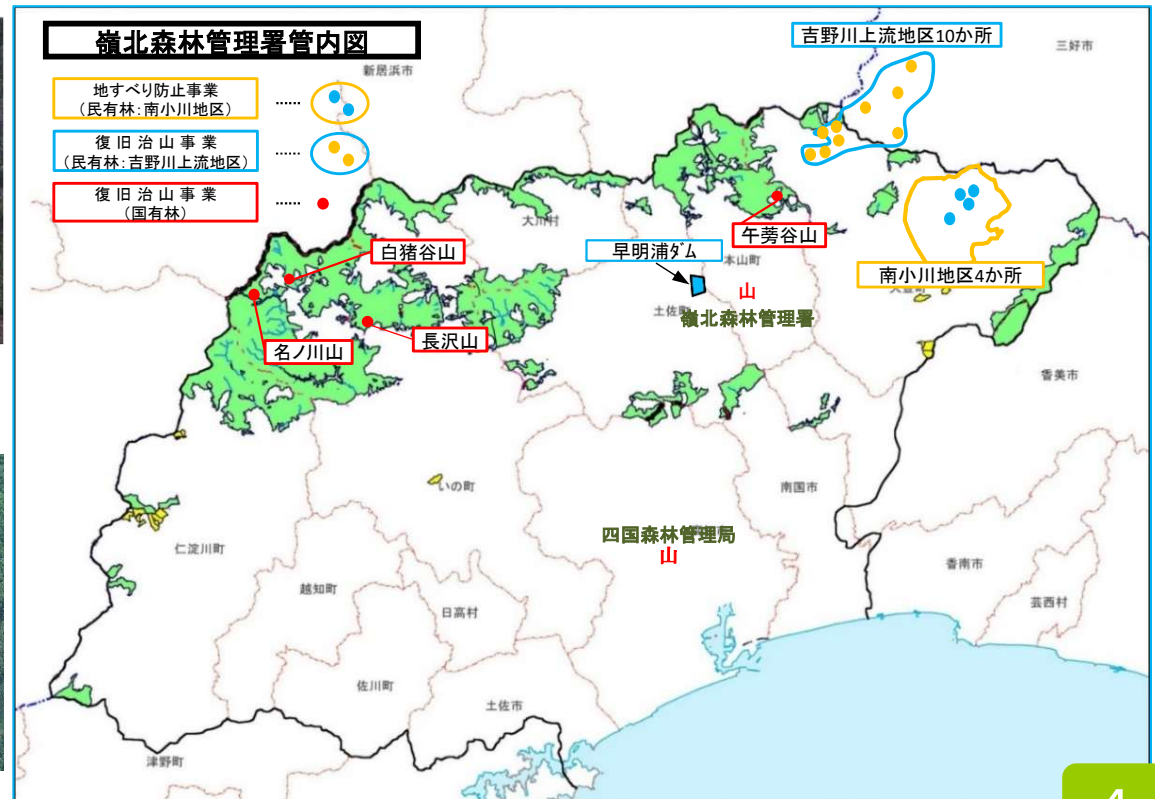


復旧状況(崩壊下流部対策工)



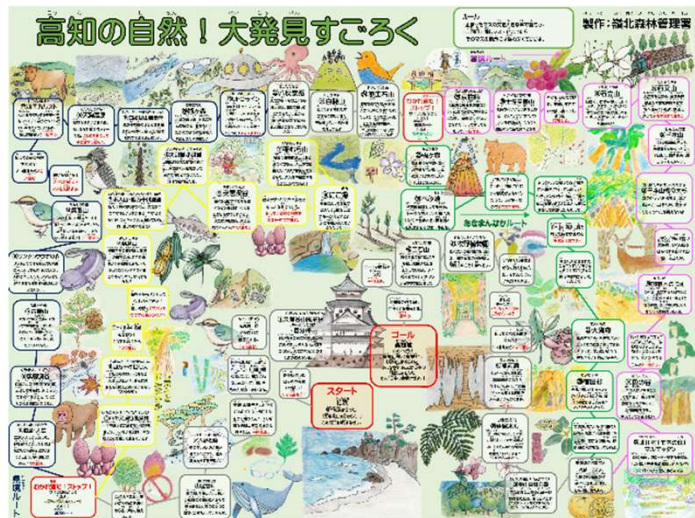
復旧状況(山腹工施工)

■ 令和8年度 嶺北署管内の復旧治山事業・地すべり防止事業の実施予定地区



5 森林環境教育等の実施

- 嶺北森林管理署職員が作成した、手作りすごろく「高知の自然！大発見すごろく」を活用した森林環境教育を、嶺北森林管理署管内をはじめ県内小学校で継続して実施します。
- 嶺北地域唯一の高校である県立嶺北高校において、森林・林業に関する講義や現地見学等の森林環境教育を実施し、森林と人々の生活や環境との関係について理解と関心を深めます。
- 四国森林管理局と高知県との間で締結した、林業・木材産業を担う人材育成に向けた協定に基づき、高知県立林業大学校の実習において講師派遣及び実習フィールドの提供を行います。



若手職員作成による「高知の自然！大発見すごろく」



小学校でのすごろくを使った授業の様子



嶺北高校 ドローン操縦の様子

6 CLT庁舎を活用した木材利用の促進

- 国の庁舎整備において初めて本格的にCLTパネル工法を採用して建築された庁舎を活用し、木造・木質化の推進や、構造材・内装材への木材利用の拡大に向けた普及啓発を図ります。
- 視察や学校教育等での見学会の受け入れを通じて、森林の大切さや木材の効果についてPRします。

■ 嶺北森林管理署CLT庁舎



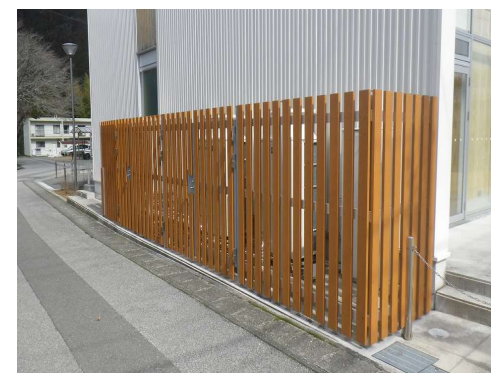
■ 木材の使用状況



CLTの使用状況



CLT内壁と旧庁舎の床サクラ材



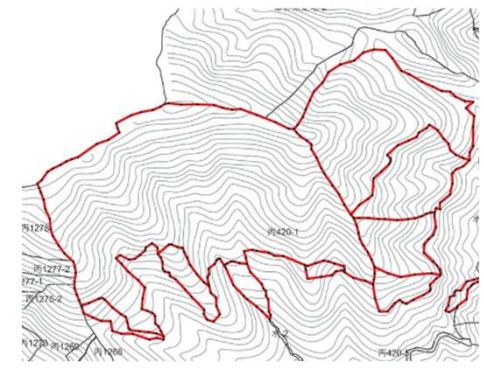
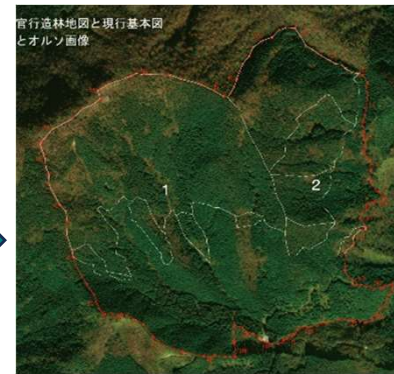
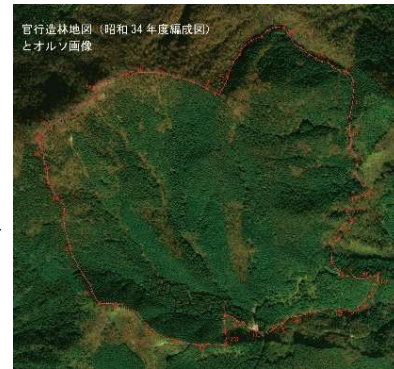
広葉樹のCNFシーラー（セルロースナノファイバー）をコーティングしたフェンス

7 デジタル技術の活用による業務の効率化

○ QGISで作成した立木販売の区域や請負区域の図面をスマートフォンに取り込み、QFieldを活用した現地の区域表示や位置情報などの情報共有を行うことにより業務の効率化を推進します。

【事例】

複雑な形をした区域について、各種資料を基にQGISで位置情報を付与した図面を作成し、その図面をQField(スマートフォン)に取り込んだ。スマートフォンの位置情報機能を活用することで、現地において画面上に区域位置を表示でき、測量等の作業を省略することができた結果、業務の効率化が図られた。



官行造林基本図（左：G空間情報センター

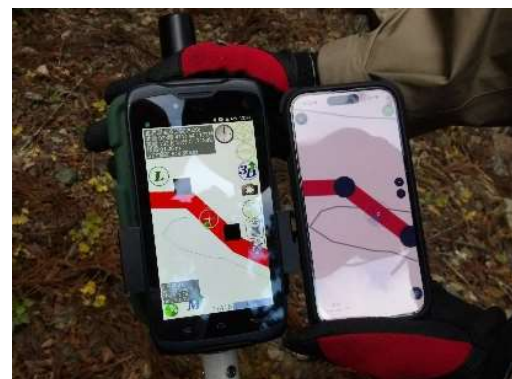
真ん中：オルソ画像

右：オルソ画像（区域線入り）

作成したプロジェクトデータ



調査中の様子（モバイルマッパー）



モバイルマッパーとスマートフォンの表示



Qfieldのアプリインストール画面